

オカヤドカリと大潮

オカヤドカリは、日本国内では小笠原諸島と琉球列島に分布しています。ヤドカリの仲間は海岸にいるイメージが強いかもしれませんが、オカヤドカリはその名のとおり海岸から内陸までを生息場所にしていて、丈夫な爪を持ち木登りも得意です。

夏の大潮の頃、夜になるとメスたちは、お腹に抱えた幼生を海の中に放つため波打ち際に集まります。プランクトンのような姿をした幼生は、海に放たれた後、海の中を漂いながら成長し、無事に海岸にたどり着くと小さな貝殻を見つけて、陸上で生活を始めます。

オカヤドカリは、普段は植物を食べますが、海岸に魚等の死骸が流れ着くとあっという間に平らげる習性から、ビーチの掃除屋と呼ばれています。国の天然記念物に指定されています。